

氏名	関美雪	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	博士(医学)				
学歴	84年埼玉県立衛生短期大学第一看護学科、87年埼玉県立衛生短期大学専攻科地域看護学専攻 96年筑波大学教育研究科修士課程、07年筑波大学人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程				
経歴	1988年蕨市保健師、96年埼玉県立衛生短期大学専攻科地域看護学専攻助手、99年埼玉県立大学短期大学部専攻科地域看護学専攻助手、02年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、05年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、12年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本地域看護学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本災害看護学会、日本行動医学会、日本小児保健協会、日本民族衛生学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

### 【2015年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 Changes in Mothers' Self-efficacy before and after Childbirth and Their Feelings toward Their Children	共著	Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology 2015:25(3)196-204	○Miyuki Seki , Hiroe Hayashi, Aki Shibata	2015.12	
(3) 学会発表					
1 保育所における発達支援の課題	共著	第18地域看護学会学術集会、横浜市	○関美雪、林裕栄、 柴田亜希、吉岡幸子、 藤川あや	2015.8	
2 保健師実習指導者が感じる実習指導へのやりがい	共著	第18地域看護学会学術集会、横浜市	○柴田亜希、吉岡幸子、 関美雪	2015.8	
3 地域健康講座参加者のバイタルサインの検討	共著	第10回臨床検査学教育学会学術大会、松本市	○荒川恭子、韓笑、 酒井伸枝、井原寛子、 久保田亮、内山真理、 関美雪、室橋郁生	2015.8	
4 母子保健業務のスキルアップを目指した映像学習教材開発(第1報)子どもの発育発達の見方	共著	日本看護学教育学会第25回学術集会、徳島市	○林裕栄、柴田亜希、 吉岡幸子、関美雪、 藤川あや	2015.8	
5 母子保健業務のスキルアップを目指した映像学習教材開発(第2報)新生児訪問指導および産婦訪問指導の技術	共著	日本看護学教育学会第25回学術集会、徳島市	○柴田亜希、関美雪、 林裕栄、吉岡幸子、 藤川あや	2015.8	
6 母子保健業務のスキルアップを目指した映像学習教材開発(第3報)家族支援の技術向上を目指した事例検討会	共著	日本看護学教育学会第25回学術集会、徳島市	○藤川あや、林裕栄、 関美雪、柴田亜希、 吉岡幸子	2015.8	
7 学生と行う「遊びの広場」を通じた子育て支援のあり方(初年度の実践検討)	共著	全国保育士養成協議会第54回研究大会、札幌市	○森田満理子、関美雪、 星永	2015.9	
8 「高齢者の問題飲酒」に介入する専門職の困難の実態	共著	第37回日本アルコール・薬物依存関連学会合同学術集会、神戸市	○吉岡幸子、関美雪、 柴田亜希	2015.10	
9 若年者の血圧・食塩摂取量・尿中アルブミン値の現状:高齢者との比較	共著	第26回生物試料分析科学学会学術集会、宜野湾市	○久保田亮、岡田孝美、 浜田えりな、西澤美穂子、 酒井伸枝、荒川恭子、 井原寛子、内山真理、 関美雪、室橋郁生	2016.2	
(4) その他					
1 該当なし					

2. 競争的資金等の研究			
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))	在宅ケアに従事する看護職の「生活」の概念の明確化(研究分担者)	2015.4~2016.3
3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	公衆衛生看護展開論Ⅰ(母子・精神保健)	2015.10~2016.2	母子保健に関する訪問時の準備やアセスメント、相談支援、乳幼児健診などについて独自のテキストを作成し、講義を行った。
2	地域ケア支援論	2015.11	保健活動を展開するための理論を学ぶ内容とともに、事例研究から地域ケアにおける支援の内容についての学習を深めた。
(2) 演習			
1	乳児保育演習Ⅰ	2015.4~2015.8	3歳未満児の発育発達と保育計画の立案、保護者の育児不安の軽減や子育てスキルを高める手法について講義と演習を行った。
2	乳児保育演習Ⅱ	2015.10~2016.2	3歳未満児の発達を促進するおもちゃづくりとエプロンシアターの作成等の実技の演習を行った。
3	地区診断論	2015.10~2016.2	健康課題を明確化する理論について講義と、社会資源の現状、健康指標や生活行動の分析についてはデータを用いて演習を行った。
4	公衆衛生看護技術Ⅰ	2015.4	援助技術の基本を理解できるよう学習教材(DVD)を作成し、演習に用いた。
5	公衆衛生看護技術Ⅱ	2015.11	健康課題をふまえた健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。
6	看護学演習(地域ケア支援)	2015.4~2016.3	公衆衛生看護の分野における研究の動向について理解を深めるため、文献抄読とクリティークを行った。
(3) 実習			
1	在宅看護学実習	2015.10~2015.12	訪問看護ステーションにおける訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解を深めることができるよう指導を行った。
2	公衆衛生看護学実習	2015.4~2015.8	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう実習指導を行った。
3	総合実習	2015.7	学生が興味関心のあるテーマについて、学習を深められるよう支援した。実習指導者と学習テーマを共有し、学生の指導にあたった。
4	IPW実習	2015.10	事前オリエンテーション、報告会の運用とリフレクションを行い、教員及び施設ファシリテーターと学生の学びを深める支援を行った。
(4) 論文指導			
1	卒業研究	2015.4~2016.1	4名の学生を担当し、学生が関心を持った事象に関して、グループディスカッションを行い、学生が主体的に研究テーマに取り組めるよう関わった。
2	看護学特別研究	2015.4~2016.3	副指導1名:看護実践及び研究、教育を発展させる研究課題の決定と研究方法の選択、研究内容の探求、研究の遂行に向けた指導補助を行った。
(5) その他			
1	保健師卒業生勉強会	2015.6~2016.2	保健師卒業生を対象として、相談援助技や事例検討会などをテーマにした勉強会を年3回開催した。
2	保健師としての就職活動支援	2015.4~2015.12	保健師志望の学生に対して、小論文添削、面接カードおよび面接対策を適宜行った。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県母子保健運営協議会	委員	2006.4~現在
2	川口市介護保険認定審査会	委員	2005.4~現在
3	越谷市まちの整備に関する審議会	委員	2015.11~現在
4	さいたま市健康づくり推進協議会	委員	2015.4~現在
5	川口市保健活動指針策定委員	オブザーバー	2015.4~2016.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

5. 学内運営(委員会委員)			
1	山西医科大学留学生担当		
2	2学年担任		
3	IPW実習科目責任者会		
4	カリキュラム運営検討会		
5	保健師及び助産師関連科目履修者選考委員		
6	大学向上特命プロジェクトチーム(広報プロジェクト)		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		